

北朝鮮漁船の排除要望

違法操業
巡り知事 官房長官、農相に訴え

日本海の日本の排他的経済水域(EEZ)内での北朝鮮漁船などによる違法操業問題で、吉村美栄子知事は1日、菅義偉官房長官と山本有二農林水産相に取り組み強化、EEZ内からの北朝鮮漁船の排除を要望した。

県漁業協同組合の本間昭志組合長らと訪れた農水省で、吉村知事は山本農相に違法操業の状況や危険性を説明。北朝鮮が28日深夜に弾道ミサイルを発射した際、違法操業の影響で好漁場の「大和堆」を避けた本県のイカ釣り船団が、ミサイルの落下した北海道沖で操業していたことも示した。

山本農相は「海上保安庁にも徹底的な監視、警戒をお願いしている。違法操業には断固たる取り組みをしていきたい」と答えた。

要望後、吉村知事は取材に「(菅官房長官、山本農相とも)『しっかりやっていく』という話だった。一歩踏み込んだ対応をという漁業者の声を伝えてきた。漁業者にとって死活問題なので、強い姿勢で臨んでほしい」と語った。



山本有二農相に(中央右)に要望書を渡す吉村美栄子知事(中央左)＝東京・霞ヶ関

他に欧州連合(EU)と経済連携協定(EPA)交渉で大枠合意したことを踏まえ、40道県を代表して林業対策を要望。菅官房長官には東北中央自動車道の整備促進も求めた。東北中央道に関しては、石井啓一国土交通相にも要望した。